



2024年1月19日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

新しい観光列車「ひなび(陽旅)」 花巻市伝統工芸品「成島和紙」の装飾で車内を彩ります！

「しあわせな予感♥いわて冬旅キャンペーン」(2024年1月~3月)期間にあわせて、釜石線沿線の花巻市東和町とコラボレーションして、地域の魅力を感じていただけるよう、地元を受け継がれている伝統工芸品「成島和紙」を使用したランプシェードで「ひなび(陽旅)」の車内を彩ります。

この機会にぜひ、伝統工芸品「成島和紙」のランプシェードでやさしく照らす灯りを「ひなび(陽旅)」の車内でお楽しみください。

1 実施期間

2024年2月17日(土)、18日(日)、23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)

3月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、30日(土)、31日(日)

2 運行区間

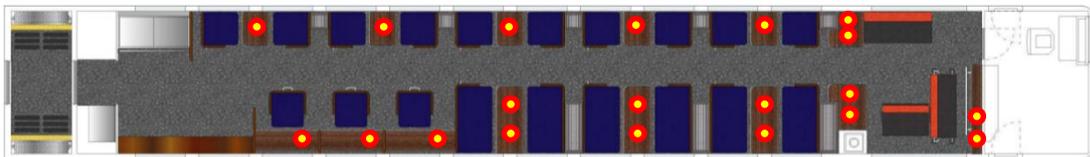
東北本線盛岡駅~花巻駅間 / 釜石線花巻駅~釜石駅間

3 車内設置箇所

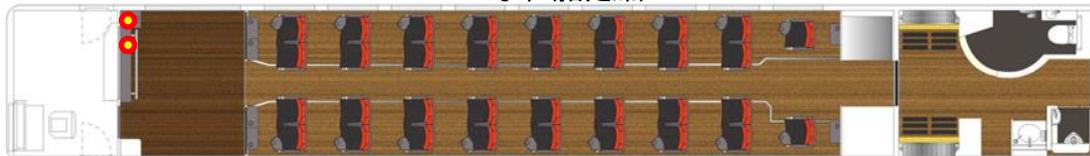
1号車(グリーン車)展望室、各ボックス席

2号車(指定席)展望室

1号車(グリーン車)



2号車(指定席)



※車内設置箇所は変更になる場合がございます。

車内設置箇所



【参考】

■「成島和紙」について

- 岩手県花巻市東和町で生産されている和紙。特徴としてクワ科の楮（こうぞ）の皮を原料とし、「ノリウツギ（アジサイ科）」の粘りを混ぜ合わせて作られます。
- 東和町成島地区で和紙の製造が始められたのは寛文元年（1661年）以前とされ、350年以上の歴史があり、藩政時代には盛岡藩の御用紙として広く愛用されました。
- 花巻市指定無形文化財として、現在は成島和紙生産組合がその技法を受け継いでいます。成島和紙工芸館では紙漉き体験を行うことができます。



「成島和紙」ランプシェード（イメージ）



車内設置の様子（イメージ）

※ 写真は全てイメージです。

※ この情報は2024年1月現在の情報です。